



31 野田の玉川せせらぎ水路

たまがわ



DATA・BOARD 31

- ①宮城県多賀城市中央2丁目1番1号
- ②延長：1,161m，幅員：8.0～9.2m
- ③橋梁，照明灯，遊歩道，せせらぎ水路
- ④鮫川石，擬木コンクリートほか



野田の玉川は、平安中期の歌人である能因法師がこの川を歌に詠んで以来、多くの歌人が陸奥への思いをたくし、玉川を歌枕として用いてきた。

「野田の玉川せせらぎ水路」は、この玉川をかつて歌に詠まれたときのような美しい流れの川に戻すことを願い、整備が図られたものである。

整備にあたっては、いにしえの川というイメージをもたせるため、川を蛇行させて、せせらぎのような形態にするとともに、護岸に自然石を張り付けている。

また、川に架かる橋や落下防護柵、街路灯などについては黒や茶色を基調としたシックな色彩で統一している。特に橋については、擬木や灯籠風親柱を使用しており、情緒ある風景の演出が図られている。